



中秋の名月に巫女の舞

柿岡八幡宮太々神楽は旧暦の8月15日、つまり中秋の名月の夜に上演され、5時間近くもかかる非常に長い芸能です。神事である祝詞、お払いが神主によってとり行われたあと、「おかぐら」と呼ばれている序奏で幕があきます。12神楽の間をぬって奉納される3つの巫女の舞の清潔さが印象的です。(写真)

すべての舞がとどこおりなく終るころは、中秋の名月も中天にかかり、夜長の秋も真夜中近くになります。



柿岡小1年友常典子さんの作品

◇町の人口(10月1日現在) 男14,828人 女15,154人 計29,982人(前月比+30) 世帯数7,199世帯(前月比+14)



ついうとうとが永遠の眠りに……死亡1名

平成2年中、全国の交通事故による死者は11227人(前年対比141人増)となり、3年連続して1万人突破しました。茨城県の交通事故による死者数も450人で全国ワースト第9位、人口10万人当たりでは第1位、自動車1万台当たりで第2位と、交通多発県の汚名を返上できない状況にあります。そこで石岡警察署管内、とりわけ町内の交通事故の状況や問題点などを探ってみました。一瞬にして命を奪われ、家庭崩壊にもつながりかねない交通事故をどうしたら防げるか、みなさん一緒に考えてください。

平成2年交通事故白書

増加傾向に歯止めを

増え続ける交通事故死

自動車台数及び運転免許人口の増加などによる「くるま社会」は目覚ましい勢いで進展しており、しかも好景気を背景とした陸上貨物輸送の増加、生活の夜型化に伴う夜間における車の動きの活性化、長寿社会の進展による高齢者人口の増加など、ますます交通事情は厳しさを増すものと予想されます。

町ではこれまで石岡警察署をはじめ、関係機関、団体と連携していろいろな交通事故防止対策を進めてきました。しかし、交通を取り巻く環境はきわめて厳しく、依然として交通事故は増加傾向にあります。

平成2年の石岡警察署管内(石岡市、八郷町、小川町、美野里町、千代田村、玉里村)での死者数は、35人(対前年比11人増)で過去17年間の最高を記録する結果となりました。

シートベルトは命綱

4輪車の死亡事故のうち9割がシートベルトの着用がされておらず、着用していれば事故現場の状況から半数の方が助かったものとされています。平成2年管内でシ

ートベルトについて亡くなった方は1人しかおらず、着用していない方が事故を起こす確率が非常に高くなっています。9月8日未明に石岡で起きた5人死亡事故もシートベルトを着用していれば助かったかもしれない。まさにシートベルトは命綱であり、必ず着用して運転することが大切です。

また、スピードの出し過ぎと飲酒運転が原因による交通事故は全体の6割を占めており十分に注意する必要があります。スピードを出しているとき急ブレーキを踏んでもすぐには止まらず、気がついた時はすでに遅く事故を起こしてしまいうケースがほとんどです。頭で反応してからブレーキが効きはじめるまでに1秒から0.7秒の反応時間が必要になり、これを距離に換算したものが空走距離です。

スピードは控めに

この距離は、時速40kmで11.4m、時速60kmで17.0m、時速100kmになると28.0mになります。車が完全に止まる距離はもっと長く、40kmで18m、60kmで33m、100kmでは50mを超えてしまいます。悪天候の中でのブレーキの



聞いて守って 4つのお願い

石岡警察署
交通課長 高野 哲

1. スピードの出し過ぎに注意

八郷は山間地帯のためカーブの多い道路での事故が多い。スピードの出しすぎに注意し、カーブの前では必ずブレーキを踏む習慣をつけよう。

2. 酒を飲んだら運転しない

酒を飲むと条件反射や判断力がぶくなり運転操作が非常に危険。八郷には飲酒運転者が多いので飲んだら乗らないを徹底しよう。

3. 青少年運転の事故多発

16歳から24歳までの青少年者運転の事故が多い。不法に改造した暴走バイクが悩みのタネ。子どもの行動に気を配る家庭教育の充実が望まれる。

4. 交通事故も高齢化社会

高齢化社会に伴い、高齢者の事故対策が問題になっている。夜外出する時は目立つ服装や反射材をつけるなど細心の注意を払う必要がある。

が相変らず飲酒運転を続けていると考えられています。町内でも飲酒運転の検挙者は増加傾向にあり、運転者のモラル向上が望まれます。飲酒の動機については、知人・友人に誘われてや自分で飲みたくてがほとんど。場所は、スナック、料理店・旅館、自宅・仕事先などです。時速50kmで走っていても飲酒運転だと間に合わず事故につながる

交通人身事故発生状況

(平成2年)

	発生件数		死者数		傷者数	
	件数	増減	人数	増減	人数	増減
県内	14,410	388	450	△12	18,522	422
管内	722	37	35	11	917	60
町内	86	14	5	1	122	45

対前年比

発生日	場所	状況
4月25日	仏生寺 (パープルライン)	乗用車が速度超過で右カーブを曲れず対向車と衝突 死者②
9月24日	小野越 (パープルライン)	自二車が左カーブで転倒滑走し、対向の乗用車と衝突 死者①
11月6日	大増道 (町)	原付バイクが運転操作を誤り側溝に転倒 死者①
12月30日	半田 (県道石岡土浦)	乗用車が左カーブで路外に逸脱しコンクリート電柱に衝突 死者①

制動距離はもっと長くなり、雨の日は1・5倍に、凍結や雪になると3倍になってしまいます。また、夜間ライトを下向きにすると同方約30mしか見えなくなり、危ないと思った時は、ほとんどが間に合わず事故を起こす結果になります。どんな時でもスピードを控えるために運転することが事故防止になることを忘れないでください。次に飲酒運転ですが依然として減少せず、県内で1日当たり平均4・5人が飲酒運転で検挙されています。検挙される数は永山の一角

望まれるモラル向上

ケースがありますので、「飲酒運転は絶対にしない」と一人ひとりが自覚し守ってほしいものです。

物損事故の発生件数も増えており、平成2年の管内は2,295件(対前年比139件増)で、1日平均6・3件を数えます。町内でも物損事故が多く、事故が起きてはすぐ警察に届けずあつて証明をほしいと申し出る方があります。遅れると事故証明を出すのがむずかしいのですぐ届けることが大事です。物損事故の多い理由として、譲りあう気持が少なく狭い道路で

快適な交通社会に

もわがもの顔で走っている車が多い、右折左折の合図が遅い、不注意の出会い頭の事故などが上げられます。

なお、秋の行楽期を迎え、レジャーによる解放感と交通量の増加から交通事故の多発が予想されるため、秋の全国交通安全運動を行っています。

その重点目標として
○青少年運転者などによる無謀運転の追放



秋の全国交通安全キャンペーン (柿岡下宿交差点)

○歩行者(特に横断中)及び自転車利用者の交通事故防止
○シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底
○違法駐車等の締め出し

以上の4項目があげられています。正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図りたいものです。快適な交通社会を実現するためには、学校、家庭、職場、地域などにおいて一人ひとりが交通事故の恐ろしさを認識し、自覚と責任を持って事故防止に努めること。かけがえない命を大切に、事故の増加傾向に歯止めをかける努力をみんなで実践しましょう。

ついでに

まぼろしの制服

娘の制服姿見たかった
着せてあげたかった

どんなに似合っていたことだろうか
高校生になったら髪をのばしたいな
自分の時間を多くとりたいたいな
だって私の中学時代は

バレーボールと勉強だけだったような気がするもの
ちよっぴり恋して悩んだりもしたけれど
娘が生きていたら今頃は

どんな高校生活をしているだろうか
娘の元気な声と明るい笑い声がきこえて
いただろうか

スカートのすそを揺らして
長くなった黒髪をなびかせて

すっかり女らしく成長した娘の姿を
見られたでしょうか

娘があんなに喜んでいた制服を
身体の上にそっと乗せてあげました

とても似合うと言ってあげたかったけれど
言葉になれず涙が流れるだけでした

きつと娘は制服姿で花園の中を
飛んだり跳ねたりしているのでしょうか

関真実子さんは、その日バレー部の先生やチームメイトと一緒にドイツニールランドへ行った。中学を卒業し、これから高校生活への旅立ちという、いわば中学生最後の記念すべき旅行であった。

彼女は中学の三年間バレー部で一生懸命練習に励んだ。「バレー部の練習とてもきつかった。夏の練習なんか、毎日8kmも走った。涙がでてきたくらい。」と日記に書いている。三年生の時はキャプテンとしてチームをまとめ、町大会優勝の原動力となった。

平成三年三月二十八日午後七時

三十分、ドイツニールランドからの帰りに自転車で友達の家へ送っていった。彼女が先頭に立ち弟と友達があとに続いた。突然乗用車が彼女に追突。頭を強く打って意識不明に。五日後の四月二日帰らぬ人となった。十五歳のあまりにも短い人生にピリオドを打った。高校生になる矢先の非情な事故死であった。

両親、教師、友達らが彼女の足跡を文集にまとめ発行した。「まぼろしの制服」はその中の母親の詩。「娘があんなに着たがっていた高校の制服」に思いをこめて。

かけがえのない 命を大切に

半田 関 利枝さん(42)

母親として真実子と同級生にいつまでも思っていてもらいたくて文集を発行することにしました。

思い出すと涙がとまらず、目を赤くはらしながら原稿書きや編集を行いました。皮肉にもバレーをしていた中学生活が私との空白の時でした。お互い忙しく過ごしていたので試合も見に行けなかったのです。いい先生や友達にめぐり会えたので真実子は幸せだったと思います。若いみなさん、かけがえのない命を大切にしてください。

真実子の分まで

長生きしなければ

山崎 菅谷玲子さん(26)

男ばかりの兄弟なので私を姉のように慕っていたようです。南中のバレー部顧問として精神面のふれあいを指導してきました。強くなかったチームを引っばっていった彼女は本当の努力家。特に町大会決勝戦はチームと教師が一体となったオリンピックのような試合と校長から高評価を得ました。まじめで何事にもひたむきな彼女が不慮の死を遂げた時は、涙がとめどなく落ちてきました。彼女の分まで長生きしなければと思います。



文集名「コートを取けぬけて」は真実子さんが中学の三年間バレーボールに打ち込んだことにちなんでつけたという。200部を作成し友人や関係者に配布。「真実子を覚えていてほしい」が文集発行の動機。

八郷ふれあいまつり

11月16・17日多彩に開催

公民館まつり 健康まつり



16日(土)～17日(日)の催し物

催し物	会場
農林産物品評会及び即売	総合運動公園
盆栽花木展	"
絵画展(小・中学生)	"
書道展(小・中学生)	"
八郷町農協コーナー	"
牛乳消費拡大キャンペーン	"
庭園樹展示即売	"
食生活改善コーナー	中央公民館
公民館講座展示	"
山林機具展示即売・木工教室	"
消費生活展	"
老人作品展及び即売	"
青年団コーナー	"
ユニセフコーナー	"
陶芸・水墨画展示	"
健康相談(血圧測定)	"

16日(土)のみの催し物

俳句会	高齢者センター
朗吟会	柿岡上宿公民館
郷土民俗芸能発表	中央公民館
健康家庭・虫歯のない子表彰	"
献血コーナー	"

17日(日)のみの催し物

県民ふれあいコンサート'91	中央公民館
茶会	"
特救指令ソルブレンショー	総合運動公園
フワフワ・ボールプール	"
米の消費拡大キャンペーン	"
ベッタンもちつき即売	"
柿岡郵便局臨時出張所	"
119円バザー・消防展示	"
柿岡城まつり	柿岡商店街

その他の期間の催し物

16～20日	書道展 一般	元柿岡ショッピング
"	生花展	"
15～22日	写真展	柿岡郵便局
6～17日	菊花展	中央公民館
24日	短歌会	"
10日	軟式庭球大会	総合運動公園
24日	硬式庭球大会	"
19、22日	バレーボール大会	柿小体育館他
19日	ゲートボール大会	総合運動公園

第二回八郷ふれあいまつりが、十一月十六日の土曜日と十七日の日曜日の両日、多彩な催しで開催されます。

今年は、主会場の中央公民館のほか総合運動公園も会場となり、健康まつり、公民館まつりを併せて行います。

また、県民ふれあいコンサート'91が、県と町の共催で開催、町からは小中学生やコーラスグループなど四団体が出場します。

柿岡の商店街で繰り広げられる柿岡城まつり、その中でも大名行列は今年で三回目、すっかりまつりの名物となりました。今年も一般から募集したお殿様、お姫様、水戸黄門らの一行が柿岡の街の中をねり歩きます。

小さいお子さんのために、総合運動公園では特救指令ソルブレンショーを開催、またフワフワやボールプールなどで楽しく遊んでいただけます。なお、十七日には中央公民館と総合運動公園を無料臨時バスが二回往復します。ご利用ください。

詳しい時間などはチラシ等を配っております。

付しますのでご確認ください。皆さんの多数ご来場をお待ちしております。



- 主催
- 八郷町
- 八郷町農業協同組合
- 八郷町商工会
- 八郷町観光協会
- 八郷町立中央公民館
- 柿岡地区公民館
- 八郷町森林組合

一般会計2億9千万を増額

平成3年第3回町議会定例会が9月17日～24日までの8日間開かれました。議案15件が原案通り可決成立し、陳情3件と請願1件がいずれも採択されました。

平成3年度一般会計補正予算、農業集落排水特別会計補正予算や工事請負契約の締結関係が上程されました。また、空席になっていた収入役には大塚の仁平修介さんが選任されました。主な内容は次のとおりです。

東成井の集落排水に3千万円を追加

一般会計の予算は、歳入歳出それぞれ2億9,114万4千円を補正増して、予算総額73億2,607万8千円となりました。

歳入については、前年度繰越金2億643万円で大半を占め、農業業同和対策事業補助金3,163万円、構造政策推進モデル集落整備事業3,002万円そして国民宿舎「つくばね」の施設整備等基金繰入金1,540万円などが補正増となりました。

歳出の主なものは、フラワープーク施設整備等基金積立金7,862万円、国民宿舎「つくばね」基

60万円に改めました。

収入役に大塚の仁平修介さん

空席になっていた収入役には大塚の仁平修介さん(65)が選ばれ、10月1日就任しました。仁平さんは長い間大増郵便局長として勤められ、その人柄とまじめな仕事ぶりには定評がありました。

仁平新収入役は「誠実をモットーとして明るい窓口の応接に心がけたい。適正な出納事務の推進に

より、住民本位の町づくりには町民みなさまの信頼にお応え出来るよう職員とともに、心を一つにして重責の遂行に、最善の努力を



仁平収入役

したい」と抱負を話していました。

また、地方自治法の規定により予定価格3,000万円以上の工事または製造の請負は議会の議決に付さなければならぬため、次の工事が上程され、可決成立しました。

ふれあいの森にスカイサイクル

◎住宅地関連公共施設整備促進事業工事請負契約の変更

変更前 3,965万5千円
変更後 7,534万4千5百円

◎農業集落排水事業東成井地区管路工事第2工区

契約金額 6,798万円
契約の相手方 ㈱峯工務店
内容 下水管及びマンホール布設
延長1,068m

◎地域改善対策事業3地区道路改良工事(第5-1)

契約金額 4,156万5百円

◎地域改善対策事業3地区道路改良工事(第6-1)

契約金額 3,661万6千5百円
契約の相手方 ㈱峯工務店
内容 道路改良舗装 延長240m、幅員4m

◎地域改善対策事業3地区道路改良工事(第6-2)

契約金額 3,502万円
契約の相手方 ㈱竹林組
内容 道路改良舗装 延長225m、幅員4m

◎ふれあいの森整備事業造成工事

内容 スポーツスライド、スカイサイクル造成など。
◎同右事業遊具関連工事
契約金額 5,562万円
契約の相手方 常洋建設工業㈱

内容 スカサイクル、メインゲート、案内板設置など。

ほかに、平成2年度町水道事業会計決算の認定について上程されました。

国への意見書として、恋瀬川、園部川などにお

いて多量の雨のたびに災害が発生することから第8次治水事業5カ年計画の策定に関するものと在宅寝たきり老人介護手当制度の創設に関するもの二件を提出することになりました。さらに議員提案により次の決議が全会一致で可決されました。原文のままご紹介します。

請負入札制度の

適正化に関する決議

地方自治体の建設事業の請負入札に関しては、地方自治法及び同法施行令に従い厳正に行われるべきである。特に、地方自治法第92条の2にあるとおり、議員の兼業禁止規定は重要である。

この規定によれば、単に議員がその役員でない場合であっても、



ふれあいの森に完成予定のスカイサイクル

役員と同等の執行と責任とを有するもので、即ち、同法人に対する実質的支配者となっている議員は、兼業禁止の規定の対象となることは明白である。

本町行政にあつては、各建設業法人の実態を十分に調査し、厳正な請負入札、契約の処置を行い、いささかでも地方自治法第92条の2に違反する行為を行つてはならない。

同時に、本町議会にあつても、地方自治法及び同法施行令の趣旨を踏まえ、自主規制を行うと共に、その他契約などについても、町行政の明朗化と町民の信頼を得られる議会運営を認識し、自粛すべきである。

右決議する

平成3年9月24日 八郷町議会

平成3年4月から

国保税が引き下げに

平成3年4月1日から国民健康保険の税率が引き下げられ一戸平均5,000円の減額となりました。保険税の算出方法は次の4項目からなり、市区町村が組みあわせて決めます。

- (1)所得割額 各世帯の収入に応じ
て計算し、基礎控除後の所得額の7:5パーセントが納付額。
- (2)平等割額 1世帯当年額1万2千円。
- (3)均等割額 各世帯の加入者数に応じ
て計算し、1人当り年額1万円。
- (4)資産割額 各世帯の資産に応じ
て計算し、固定資産税の36パーセントが納付額。

今回の減額は、(4)の資産割額で、いままですら固定資産税の45パーセントの税率が36パーセントに引き下げられました。

給付金、ふえる傾向

これは、平成2年度の歳出総額16億2,000万円の15.4パーセントに当たる2億5,000万円の繰越があつたため税率を引き下げ被保険者の負担軽減をはかることに

なつたものです。今後の医療費の伸びを考慮しながらも、被保険者に対して、後年度負担を負わすことのないよう対処しました。

また、平成2年度の医療給付金は、1人当り11万6,994円で、1戸当りが27万8,990円となりました。給付金は、医療費の伸びとともにふえる傾向にあります。

その大きな要因は、人口の高齢化と医学・医療の進歩にあります。とくに高齢化は、病気の種類の变化(成人病の増加)、入院の増加などによって、医療費を押し上げる要因となります。

滞納しないように

国保を健全に運営するためには、1つは、医療費の伸びをできる限り押えること、もう1つはみんなが確実に保険税を納めることです。

未納者がいると、翌年保険税がまた上がってしまうことになりま。保険税は納期限内に納めるようにし、医療を受けて医療費を使うまえに、きちんと保険税を払うことが大切です。

そうでないと他の人の負担によ

って国保財政をささえるということになります。このようなことが続くとやがて保険制度がつぶれてしまいます。



保険税を滞納すると保険証を返してもらふことがあります。保険証を返してもらつた世帯には、かわりに被保険者資格証明書を発行します。その証明書で医者にかかると、医療費はいったん全額本人払いとなり、後日申請をして国保から給付相当額を払いもどしてもらふこととなります。しかも保険給付の全部、または一部を差し止めることがあります。

町立小幡小学校

台風一過。夏を思わせるように晴れ上がった九月二十八日、小幡小学校（鈴木健就校長）五・六年生九十七人は、学校田「のびのび田んぼ」で稲刈りの体験学習をしました。この児童たちが五月に顔まで泥をはね上げて一生懸命に苗を植えたものです。

重い稲穂が倒れそうになりながらやつと耐えている稲株をつかんでジョリッ。「わあ、ずい分育ったなあ」。歓声を上げながら、児童たちはのこぎり鎌を器用に使い、どんどん刈り進めます。十二ア



ールを四十分で刈りとりました。PTA（広瀬正稔会長、役員十三人が脱穀機三百を用意して応援。稲束を抱えて運ぶ児童たちも楽しそう。アカトンボが澄んだ秋空を一面に飛び交っていました。同校は、明治七年二月十一日の創立。葉王院を仮校舎として発足。その後昭和三十三年に下青柳小学校と統合。同三十四年に統合校舎

空にアカトンボ みんなで稲刈り



のびのび田んぼで稲刈りと脱穀に精を出す五・六年生の児童たち

落成。五十八年に体育館、翌年永久校舎完成。現在、児童数二百六十七人（十二学級）、職員十九人。学校田を利用した体験学習は、十三年前から続けられており、代かき・田植え・水管理・収穫感謝祭など、学校と地域が一体になり進められます。昨年度からは、児童の発想を生かしながら、「野菜の王国」と名付けた畑を利用した栽培活動も取り入れられました。文部省から「勤労生産学習研究推進校」として二年間の指定を受

います。十月十八日に研究の成果を発表します。「すすんで学ぶ子 はたらく子」同校の目指す児童像が、校舎三階のテラスに大きく掲げられており自ら学ぶ学習態度の育成と、学力を向上させる指導法の研究が進められています。高度科学・技術化・情報化・国際化へと多様に進展する二十一世紀に活躍する人間の育成を目指して、職員一丸となって取り組んでいます。

町長の日記帳から



「町長はどんな仕事をしているのだろう」「いろいろな行事出席しての感想は」そのような素朴な疑問に少しでも応えようと今月号より「町長の日記帳から」を始めました。一カ月間の町長の主な動向と行事などから感じたコメントやメモを掲載。対話を通して心の通う開かれた町づくりの一環として企画したものです。まず、九月の主な動向からお知らせ致します。

三日(火)～四日(水) 産業文化事業団役員研修（宮城県川崎町）

五日(木) 天の川、恋瀬川整備促進協議会（石岡市）

八日(日) 消防団操法競技会選手結団式（国民宿舎つくばね）

十日(火) 町最高齢者（上曾、富田かつさん）訪問（記念品贈呈）

十一日(水) 交通安全支部長会議（石岡市）

十二日(木) 地域改善対策事業関係打ち合わせ（結城市）

十五日(日) 町内敬老会へ

十七日(火)～二十四日(火) 平成三年度第三回定例議会

二十二日(日) 柿岡小、小幡小、芦穂小、恋瀬小、林小運動会へ

二十五日(水) 平成四年度予定補助

事業について県の関係機関へ陳情
二十六日(木) 農業振興地域整備促進協議会
二十九日(日) 吉生小、瓦会小・園部小、東成井小、小桜小、朝日小運動会へ
三十日(月) 秋の全国交通安全運動のキャンペーンで立しよう指導。
交通安全協会の役員、女性ドライバー友の会、石岡警察署のみなさんと柿岡下宿で約一時間ドライバーに安全運転を呼びかける。

交通事故ゼロの町に

交通事故は被害者、加害者いずれも犠牲者であり、一瞬にしてその人の人生を大きく左右することがあります。町ではとくに飲酒運転と物損事故が多いとのこと。耳慣れた言葉ですが「飲んだら乗らない」を守り、お互い譲り合う気持ちで大切にしたいものです。モーターゼーションの現代において車は必需品。交通ルールとマナーを肝に銘じ、安全第一の運転を心がけましょう。高齢者と子どもたちにはとくに気を配り、「交通事故ゼロの町」を目指して取り組む決意を新たにいたしました。 桜井盾夫

流れを変える若い力に期待

歴代町長が言っているように、八郷は農業の町である。その農業が厳しい時なので、農業を本業としている人が代議員となり、活性化に努めてほしい。

選挙に法外な金がかかることは、人間の価値が金の重さで決まってしまい、当選してもあまり尊敬されない風潮がつくられる。また金権選挙は、政治を住民から引き離して派閥

的な行動を優先するような気がする。議員の歳費を抑え、違反の罰則を厳しくすれば改善されると思うのだが。いまのままではますます悪くなる一方。現状を打破するには若い人たちの勇気ある行動以外ないのでは。民主主義の原点を見つめ、理想的な政治形態を取り戻すため、きれいな選挙を実践してもらいたい。いつの時代でも若い力がよんだ流れを変えている。私はそのような人に一票を投じたい。



藤代 克さん
小山田・農業67歳

候補者は政策・主張を明確に

町議会の選挙が十二月に行われる。毎回思うことだが、立候補者のはっきりした政策、主義主張がうすいように思う。選挙公報も大事だが、それぞれに工夫して有権者に示していただきたい。そうでないと全体の候補者からは選択できず、結局血縁、結縁から選ぶほかなくなってしまう。選挙管理委員会でも候補者がよく

分かるようなシステムづくりに努力してほしい。モノやカネが横行する選挙を許しているのは、若い人たちが無関心であることも一つの原因。政治の浄化はきれいな選挙を行うことにあるのだからもっと関心を持つことが大切。「寄らば大樹」の派閥的な利害関係に若い人が巻き込まれるようでは政治の向上が図れない。モノやカネに関係なく投票する人が増えることを期待する。



藤井好子さん
山崎・主婦41歳

町ぐるみで明正選挙のPRを

うわさによるといまの選挙は大へん金がかかるらしい。そのような状態では、ふさわしい人に「われわれの代表になってください」と頼めない。地域や団体から依頼できる選挙体制が望ましい。十年くらい前から悪くなっているような気がする。「今度検査されるはこの地区か」など選挙違反や金権選挙は当然のような風潮。残念ながら解決にむけての対策はむずかしい。以前町には、「明正選挙友の会」が組織され、きれいな選挙推進のPRに一役買っていた。いつの間にか消えてしまったが、町民全体が選挙への自覚を持つような啓もう活動を復活してみてもどうだろう。候補者が落選して、五十年以上も集落にシコリとなって残った例があるが、シコリを残さないような選挙を心がけることも大切である。



比企政雄さん
小埜・農業66歳

あなたの声を町政へ

シリーズ ③

対話

参加

親子で遊ぶ公園や

遊具の設置を

小さい子どもを持つ母親ですが、子どもたちと一緒に集まったり、遊んだりする場所を作ってほしいと思います。できれば親子で楽しめる行事などを企画していただければ最高です。それから、町にはスベリ台やブランコのある公園がありません。

中央公民館のとなりにも遊具施設を設置してほしいのですが。

瓦谷 小松 淳子 (27歳)
〔おこたえ〕

「ふれあいの森」が

来春オープンに

公園の整備についてですが、総合運動公園には、子どもたちが自由に遊べる芝生広場や自然公園があります。また、今年度は、新た

にフラワーパークの隣りにスベリ台や遊具施設、展望台などを備えた「ふれあいの森」を建設しており、来年の四月にオープン予定です。

ご指摘の各地区、集落ごとの整備となるとまだまだ難しい状況です。しかし、公民館や集落センターの空地などへの遊具の設置につきましては、区長さん方の要望により、国のいろいろな事業を利用して逐次整備をすすめています。

るので、集落や地区で検討され、区長さんを通じて申し込んでください。

なお、中央公民館敷地への遊具設置は、敷地利用計画を十分に検討し対処していきます。確かに公園などの整備は、町づくりを進めていくうえで、今後ますます必要になってくると思われるので、財政上のことも十分勘案しながら計画的に進めていきたいと考えています。

「八郷ふれあいまつり」

公民館活動の成果を発表

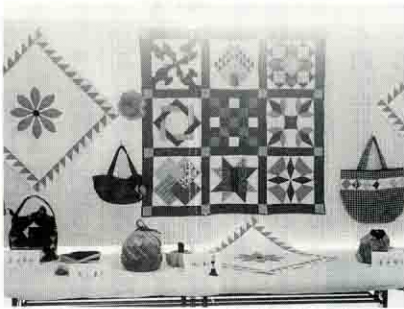


「八郷ふれあいまつり」が、十一月十六日と十七日、中央公民館、総合運動公園等を主会場に開催されます。

籐工芸、七宝焼、袋もの、木目込人形、水墨画、陶芸、和裁などの講座、同好会、婦人会、各地区婦人学級生の作品が展示されます。これらの作品は、日ごろの公民館活動などで学び作った力作ばかり、見学者の目を引きつけるはずですよ。

八郷ふれあいまつりは、従来から行われていた産業文化祭、健康まつり、公民館まつり、柿岡城まつりが併合して、町民のイベントとして、多彩な内容で開催されます。

その中から公民館まつりの催事をご紹介しますと、講座室では手編み、ペン習字、パッチワーク、



昨年のふれあいまつり（写真下も同）

同コンサートは、県民の皆さんが音楽芸術に参加する機会をつくり、地域住民や児童生徒と音楽団体との交流を通して、地域文化の振興を図るものです。当日は、町内の小・中学生やコーラスグループのほか町外から三つの合唱グループが参加します。

このほか、手づくりの作品のチャリティーバザーが行われ、売上金は町福祉協議会に寄付されます。講座生を中心に、それぞれの学



習の成果を発表するこれらの催しも、年々盛大になっていきます。皆さんも、生涯学習時代の趣味づくり、仲間づくりのため、そしてうるおいのある文化的生活、コミュニケーションの場として公民館の事業に参加してください。

新購入図書のご案内

「茨城方言民俗語辞典」

「世界名作文学館」

「日本文学名作館」

※図書室は、平日、土曜日、日祭日とも午前九時から午後五時まで利用できます。

また、購入希望図書の受け付けも行っていますので、読みたい本がありましたら中央公民館（☎四三二六二六）までご連絡ください。

●最近気になる病気

急性心筋梗塞とは

石岡市医師会病院

内科 田谷光一医師



わが国三大死因の順位は昭和六十年以来、一位がん、二位心疾患、三位脳卒中となり、この傾向は当分続きそうです。その心疾患による死亡の原因の一つとして重要なのが急性心筋梗塞です。短時間の胸痛発作（この時点では狭心症）を繰り返した後に、三十分以上の胸痛が出現し、急性心筋梗塞となることが典型的ですが、ある日今まで元気だった人が突然発症し、短時間のうちに死亡にいたることもあり、周囲の人を驚かせる恐い病気です。

急性期の治療の中には冠動脈内血栓溶解療法があります。これは、冠動脈をつまらせている血栓を溶かして、血液の流れを再開させることによって心筋の傷害を少なくさせる治療方法です。最近、点滴で投与しても効果が期待できる溶解剤が開発されています。しかし、この治療中に不整脈などをひきおこす可能性もあり、やはり専門家がいますのでの使用が望ましいとされています。

診断 心筋梗塞の診断は、三十分以上続く胸痛と、心電図変化、心筋壊死の結果、血液内に増加してくる酵素の測定によって行われます。

治療 心筋梗塞の治療で最も大事なことは、できるだけ早い時期に診断し治療を開始することです。急性期は、いろいろな合併症が生ずる可能性があり、絶対安静と厳重な経過観察が必要です。その後、重症度に応じて体を動かすリハビリテーションを行います。

心臓の筋肉を養う血管を冠状動脈といいます。この血管が動脈硬化によって内腔がせまくなり、そこへ血液のかたまり（血栓）ができてついには閉塞をおこします。その結果、心臓の筋肉は酸素不足になり動かなくなってしまうわけです（心筋壊死）。この動かなくなる範囲が広いと、心臓の機能が低下しますし、また不整脈などをおこし死亡する

チーズ入り
おからコロッケ



食生活改善委員 田村文子 (川又)

材料 (4人分) おから250g 玉ねぎ200g 牛ひき肉100g 豚ひき肉100g マーガリン大さじ2
しその葉8枚(パセリでもよい) 塩・こしょう少々 牛乳カップ $\frac{1}{2}$ チーズ20g 小麦粉適量 卵適量 揚げ油適量 にんじん1本 いんげん20本 トマト適量

作り方

- ①おから100gをすり鉢でよくする。(残りは衣用にパサパサになるまでよく炒しておく)
- ②玉ねぎはみじん切にしてマーガリンで炒め、透きとおってきたらひき肉を加え、塩、こしょうしてみじん切りにしたしその葉を加える。
- ③マーガリンを溶かし、すったおからとつなぎに小麦粉少量を加え、焦がさないようにサラッとすまで炒め、温めた牛乳を少しずつ混ぜる。
- ④②と③を合わせ12等分して中心にチーズを入れて俵型にまとめる。小麦粉、溶き卵、炒ったおからの順に衣をつける。
- ⑤揚げ油を中温(170℃)に熱し④を色よく揚げる。
- ⑥ゆでたいんげん、にんじん、トマトを付け合わせ皿に盛る。

わが家30年ぶり



相沢栄里ちゃん(小屋)

父 一夫さん 母 京子さん
平成3年1月21日生まれ(長女)

家族からの一言

病気などもほとんどせず、手のかからない子です。最近、お兄ちゃんたちのまねをするようになりました。

これからも病気などせず、明るく元気いっぱい育ててほしいと思います。

失われゆく
八郷の自然

(7)



クヌギと山マユ

秋の訪れは筑波からである。山が近く見え、空が高くなる。筑波の山頂あたりの色彩に変化が見え、ゆっくりとやささと全域に拡大する。

昭和三十年代、このころから炭焼きの煙がたなびきはじめた。この炭焼き

四季の表情ゆたかなクヌギ

に最適だったのがクヌギである。漢字では「櫟」または「栲」、家の出入口などにクヌギの柱をなぜか用いる習慣があり、この国字ができたらしい。常陸太田市の西山荘の門柱は、古来からの伝統を守り、クヌギの直幹である。かつて八郷の山地には広大なクヌギ

林があり、町中央部の平地や丘陵にも

多くのクヌギがあり、材はまき、炭、落葉は最良の堆肥として利用されていた。

春、地味な花をつけ、年を越して実となる。どんぐりである。母や祖母に

手を引かれての落葉掻きの帰路、幼児の手中に宝石のような木の実があった。

祖父はこれに軸をつけ、兄や父はどんぐり独楽の回し方を教えた。

八月、クヌギの緑

の最盛期のころ、葉に隠れるようにマユがついている。山マユである。クヌギやコナラで育つこのマユを、大正のころまで自家用に飼育し、糸に引き、つむぎの布地を織っていた。自然に恵まれた八郷ならではの技術であった。女性の手練と生きがい支えた伝統で

あった。

恋瀬地区に「そだ」という地名がある。クヌギやコナラなどの小枝のことである。

石岡に国府があったころ、高級役人の衣料の山マユを飼育するための飼料のそだを植栽した地であったとの伝承がある。そだの地名は現在「曾田」と書く。

燃料革命の進んだ現在、クヌギ林は激減しヒノキ林や耕地と化した。

クヌギを知らない町民も多い。若葉はマユの宝石と称される山マユを育て、琥珀色の実は、むらの子どもをメルヘンの世界に誘った。春夏秋冬、クヌギは村の樹であった。

中央公民館長 軽部 豊

めしなの広場



山崎 友部伸子 (12)



真家 松本記代子 (10)



真家 助川美香 (8)



山崎 永井明博 (13)

このページは、皆さんが作るページです。
あなたのご意見や作品をお待ちしています。

私も ひとこと

古 稀をむかえ、老人保健制度による「健康手帳」と「医療受給者証」をいただきました。安心して老後

を託せる今の世に感謝でいっぱいです。人生八十年時代となり、平均寿命が伸びたといっても手ばなしで喜べない問題があります。それは痴呆症やねたきり老人が増えることと老人の医療費が増えることです。

長く生きてだけでは長寿ではないと思います。長生きしたことを本人はじめ、周りの皆が喜び寿ぐことなのです。そのような老人になりたいです。

それには、老人自らが自分の体を自分で守る心が必要でです。それを「自助努力」というのです。医療、福祉、自助努力、この三つが相まってこそ、生き生き八十年人生を送ることができるのです。

この生命を大切にしておりに感謝しつつ毎日をすごしています。

柴間 杉山 はつ (70)

習字コーナー

評 玄潮会 森浩亭

星月空夜
六年 谷仲百合子

柿岡小六年 谷仲百合子

一点一画実にていねいです。きりつとした線で美しい。

いたま
奇木典男

柿岡小二年 青木典男

元気よくねばり強く書けています。

富

土山を憩の里にして欲しい。水戸の梅、那珂の県民の森や笠間のつつじ、潮来のあやめなどのように季節ごと花見もできると楽しい。

また野外観察、探鳥コース、野草園自分で工作のできる工芸の里。アイデアは公募がよい。

ゴルフ場などもつての外。大気の浄化装置である樹木を切り倒し、広大な土地を破壊して少数の者のエゴを満足させるだけの土地利用は厳禁。

下林 安達 一水 (64)

先

日、フラワーパークへ家族で行きました。いろいろな花がきれいに咲いていてなごやかな気持ちになりました。ただ、展望台に行く時間がなくフラワーパークをあとにしたので

す。今度は、絶対展望台に真っ先に登るつもりです。

小屋 吉田 美佐 (28)

フ ラワーパークに、花だけではなく、小山遊園地ほどではないにしろ、もう少し家族づれで楽しめるようになると良いと思う。入場料が高いわりにはずまらないと思う。

鯨岡 三村 清 (38)

今年度フラワーパークでは、展望台から一気に五百五十メートルを滑べり降りるスポーツスライダーと、地上約五メートルのレールの上を走るスカイサイクルを整備する予定です。ご家族づれでお楽しみいただけるよう施設の充実を図っているとこです。

商工観光課

フラワーパークの
入場券がペアで当たるよ

広報クイズ 42

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①町の平成2年中の交通人身事故
発生件数は何件？

(A)72件 (B)86件 (C)67件

②国民健康保険税の固定資産割額
の税率は45%から何%に引き下げ？

(A)42% (B)36% (C)28%

③9月定例議会で補正増額された
のはいくら？

(A)2億9千万円 (B)3億円
(C)3億1千万円

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ42と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名にフラ
ワーパークの入場券をプレゼント
します。

☆締切日 平成3年11月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場広報課

☆当選者の発表 本紙12月号

【広報クイズ41の当選者発表】

正解は1-A、2-C、3-Aでした。
応募52通、正解52通の中から次の
10名が当選しました。

沢畑恵(片野) 来栖洋一(柿岡)
本岡光枝(柿岡) 山中くま(片野)
安達司(真家) 雨貝ひとみ(柴内)
奥村翔一(山崎) 木村昇男(上曾)
阿部友由(土浦市) 萩原志づ(月
岡) =敬称略=



真家 松本真規子 (10)



宇治会 永瀬伸明 (11)



半田 桜井則子 (9)

●やさと文芸

汗の手拭小枝にかけて休む工夫の昼下り

上林 大久保 貞彦

法師蟬鳴く残暑と別れ虫の声呼ぶ秋の夜

大塚 友部 ゆき江

逢ふて別れて思い出のこす橋がとりもつ出島城

上曾 足立 喜二郎

俳句

大木 嶺 月選

降り出せし雨の秋桑摘み急ぐ

朝々の葉を拾うを日課とし

筑波嶺の空にひろがり翳雲

俳句

山崎 安達 利男

雨の中祭りばやしが遠近ゆ波打つこくと聞こえ来るなり

東成井 鈴木 君江

吹く風に秋の香りの漂いて銀杏ははやも染まりつつあり

東成井 小島 せん

長雨に刈り遅れたるコシヒカリ今日は刈られて運ばれて行く

東成井 大和田 利

短歌

吉田 次郎 選

秋空に舞うパラグライダー。と
り入れの始まった田んぼには稲架
がならぶ。 上曾地内



「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・広報課 内線二一六)

自然の中でウォークフェスティバル

八郷町の豊かな自然の中で、十月六日の日曜日、いばらきウォークフェスティバルが開催されました。

これは、県自然歩道利用促進協議会および県歩け歩け協会が毎年行っているもので、今回「関東ふれあいの道」の八郷地内をコースとしたもの。朝日小学校から仏生寺、不動峠、中山を経由して再び朝日小学校に戻る十二・七キロメートル

の一般向きのコースです。

当日は、水戸や日立など、県内各地から約百三十人が参加、朝日小学校校庭で開会式を行ったあと元気に出発しました。残念ながら昼ごろから小雨がパラつき、あいにくの天気となってしまいました。皆さん歩くのが大好きという方ばかり、少々の雨など何のその、参加者全員が完歩しました。



県珠算競技大会で大活躍

県商工会珠算検定試験三十周年を記念した珠算競技大会が、八月二十六日、水戸市で開催されました。

大会には、県内から三百六十七名が出場、当町からも十二名が出場しました。当町からの出場者の成績は、次のとおりです。

〔団体〕▽小学低学年準優勝高野拓弥・河村将樹・藤岡洋也▽小学高学年準優勝額賀邦弥・須藤亜紀子・横山明美▽中学優勝河村照円・高野理沙・岡本弘毅
〔個人〕▽小学低学年二位高野拓弥▽同

三位藤岡洋也▽小学高学年二位額賀邦弥・須藤亜紀子▽同三位横山明美▽中学二位高野理沙▽同二位河村照円・岡本弘毅▽高校一位岡崎正美
〔読上〕▽小学低学年二位高野拓弥▽同三位藤岡洋也▽小学高学年二位横山明美▽中学二位河村照円・高野理沙▽同三位岡本弘毅▽高校一位小林幸江
〔読上暗算〕▽小学低学年一位高野拓弥▽同二位河村将樹・藤岡洋也▽小学高学年二位須藤亜紀子▽中学二位河村照円・高野理沙



つたぬき ティータイム

宇治会 北島順子さん (19)

趣味は別にありませんがドライブが好き。ゴルフもやってみたい。理想の男性は、私の性格を理解してくれる人。



ありがとう

いよいよおち

長崎県雲仙普賢岳火砕流による罹災者見舞金として
○大塚 柴山八十吉 一万円
○吉生ゴルフ愛好会(会長小松本千吉他二十二名) 三万円
○中山、小野越、仏生寺子供会 五千五百七十七円

敬老会で日本舞踊を披露

九月十五日の「敬老の日」、今年も町の各地区では公民館や婦人会が中心となり、七十歳以上のお年寄りを招待して「敬老会」が催されました。

小桜地区でも、地区公民館を会場に開催、四百五十四名が招待されました。

この敬老会にアトラクションとして、仏生寺の加藤すいさんが、毎年、日本舞踊を披露しています。

加藤さんは、十数年ほど前から、お年寄りの皆さんに喜んでいただこうと、敬老会で日本舞踊を披露しているものです。

今年も、加藤さんのはなやかな踊りに、会場からは盛んな拍手が送られています。



つくばねがバレー、野球ともに優勝

町スポーツ少年団秋季大会が、九月一日、七日、十五日の三日間にわたり行われ、熱戦が繰り広げられました。

町内の十一支団から野球十二チーム、バレー二十チームが出場。試合は、総合運動公園、小幡小・有明中グラウンド、柿岡小体育館で、リーグ戦で進められました。

結果は次のとおりです。

▽野球の部
 △優勝 つくばねスポーツ少年団 △準優勝 △恋瀬スポーツ少年団 △三位 林スポーツ少年団
 バレーボールの部
 「Aクラス」▽優勝 つくばねスポーツ少年団 △準優勝 恋瀬スポーツ少年団 △三位 桜スポーツ少年団・瓦会スポーツ少年団
 「Bクラス」▽優勝 瓦会スポーツ少年団 △準優勝 桜スポーツ少年団



山崎に新しい消防ポンプ自動車

町では、昭和六十三年度から、毎年一台ずつ消防ポンプ自動車の更新を図っています。

九月二日、この新しい消防ポンプ自動車です。

車の引き渡し式が、八郷消防署で行われました。このほど更新されたのは、第六分団第二部（山崎地区）の消防ポンプ自動車です。



職員の異動 ()内は田所所属

◎九月十日付
 〈総務課・福祉課兼務〉▽奥庭清 (新治広域事務組合)
 ◎十月一日付
 〈企画開発課〉▽松崎守男 (商工観光課) △前沢洋一 (農政課)
 〈商工観光課〉▽柘植優 (建設課)
 〈建設課〉▽白井俊 (収納課)



「わたしの味自慢」が今月号から始まった。伝統的な郷土料理、地元産を材料にした旬の料理、わが家伝来のものなどさまざまメニューが登場してくることだろう。担当は、成人病予防や健康食の推進に日ごろ努力されている食生活改善員の方々。

現代はグルメブームのせいか、テレビ、新聞などで料理ものが取り上げられけっこう評判がいい。だが、調理器具や材料に見たことも聞いたこともないものが出てくると作る気が失せてしまう。

柿のタネや冷凍ものを肴(さかな)に缶ビールを飲みながら「きょうの料理」再放送を必ず見ている私、思うのだから他の人はなお更だろう。岡

空気まで美しい ここはフラワーパーク



バラ色の風あざやかです

茨城県フラワーパークでは、いま秋バラまつりを開催中。多彩な催し物で皆さんのお越しをお待ちしています。世界中から集められた500品種3万株のバラが咲きみだれる園内は、まさに花の楽園そのもの。ご家族連れで、またはお友達と恋人と、秋の1日、ごゆっくりと世界のバラの香りをお楽しみください。

県民の日11月13日水

町民無料感謝デー

茨城県フラワーパークでは、開園7年目を迎え、日ごろの感謝をこめ、11月13日の「県民の日」を記念して、町民の皆様を無料ご招待いたします。

右の招待券を切り取り、いっしょにおいでになる家族のお名前を記入のうえご持参ください。

詳しくは茨城県フラワーパーク(☎42-4111)まで。

キリトリセン

家族招待券



花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

住所

氏名

平成3年11月13日

県民の日に限り有効